《至誠 剛健 協同》
ふるさとを愛し 将来への夢を抱き
こころ豊かで自立する
香住っ子の育成

大松（おおまつ）

香住小学校 学校だより
第５号
令和５年７月２０日
香美町立香住小学校

１学期終了！　さあ夏休み！

様々な取組を経て、今日で１学期が終了します。運動会やペア遠足、学年ごとに実施した体験活動や社会見学など、多くの学習や体験を通して全校生３４４名が心も体も成長することができました。特に、今年度から力を入れて取り組んだ「あいさつ先運動」では、校内でのあいさつはもちろん、地域や保護者の方からもお褒めの言葉をいただくようになりました。心と心をつなぐ取組として、今後も続けていきたいと思います。また、３年ぶりに有観客（制限のない）で実施した６月の運動会では、全校生が一致団結した演技を披露し、「これぞ香住小！」という姿を保護者の皆様や地域の皆様にお届けしました。児童たちに対する惜しみない拍手と温かいご声援が、子どもたちのやる気と自信につながりました。心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ児童たちは明日から夏休みを迎えます。当然のことながら夏休みは家庭や地域で過ごす時間が多くなります。どうか家庭や地域での関わりを通して、「あんぜん」「あいさつ」「あとしまつ」が今まで以上に守られますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。始業式には３４４名全員がそろって元気な挨拶が交わせることを願っています。

「時間を守る」取り組み実施中

７月３日から、学校生活の重点的な取り組みとして、「時間を守る」活動を進めています。先日の児童集会でも、児童会役員のみなさんが寸劇を交えて、時間を守る大切さと具体的な取り組み内容を全校生に紹介してくれました(演技力もバツグンでした！)。これは、まさしく自分たちの手でしっかりけじめをつけようという気持ちの表れだったと私は感じました。学年によっては「１分前着席」など、時間を守る活動を進めているところもあります。

集団で暮らす中で、時間を守ることはとても大切なことです。遅れた人を残りの全員が待つようなことがあれば、１人のおかげで残り全員の時間が無駄になってしまいます。大人の世界では、さらに厳しく、時間を守らないことや期限を守らないことは、信用を失うことになり、一度失われた信用を取り戻すのは、遅れた時間の何倍、何十倍もの時間をかけなくてはならないことにもなります。

《もしも授業開始が毎時間１分遅れると…》

○１日６校時授業とすると、１日６分の時間を失うことになる。
学校は１年間２００日ほど授業をするので、
○６分 × ２００日 ＝ １２００分を１年間で失うことになる。
小学校は１校時が４５分ですから、
○１２００分 ÷ ４５分 ≒ ２７校時

つまり、授業の開始時刻が毎回１分遅れると、１年間でほぼ１週間分の授業時間を失っていることになってしまうのです。「ちりも積もれば山となる」の言葉通り、少しの時間の積み重ねが、たくさんの時間を失うことになります。

現在、校内では校時表に合わせて「チャイム」を導入しています。児童からは、「分かりやすくていい」、「時間を意識するようになった」など、好意的な意見が多く聞かれます。この「時間を守る」取り組みが、児童にとって時間の大切さを学ぶ機会となると同時に、今後の学校生活の落ち着きにつながることを期待しています。

日本代表でのルールはシンプルで　「時間厳守」「５分前行動」でした。
強いチームをつくるときには　こういった
一見、些細に思われるようなことが　一番大切です。
エディー・ジョーンズ（元ラグビー日本代表ヘッドコーチ）

図書ボランティア活動 お世話になっています

今年も香住小学校「図書ボランティア」の募集をしたところ、多くの保護者の方や地域の方にご協力いただけることになりました。活動内容は、①昼休みの本の貸し出し　②図書室整備　③児童への読み聞かせ　などです。すでに昼休みの本の貸し出しは、毎日交代でお世話になっていますし、６月と７月には１回ずつ、朝の読書の時間に読み聞かせにも来ていただきました。いざ読み聞かせが始まると、児童は物語の中にグッと引きこまれるのが分かります。わずかな時間の中でも児童たちは想像力を働かせながら素敵な時間を過ごすことが出来ました。

香住小学校の児童の課題として、家での読書、いわゆる「家読(うちどく)」の時間が短いことがあげられます。どうか、１０分でもかまいませんので、テレビやスマホを置いて、親子で読書の時間を作ってみてはいかがでしょうか。きっと、また新しい世界が広がるはずです。夏休みは、その大きなチャンスです。どうぞよろしくお願いします。

《《　タブレット端末の持ち帰りについてご協力を　》》

現在、香住小学校では、一人一台のタブレット端末を活用して授業や様々な学習活動に取り組んでおります。家庭での活用については、少しずつ取組を進めていますが、２学期以降、さらに児童のタブレット端末活用機会の拡充や家庭学習の充実のため、貸与したタブレット端末の家庭への持ち帰りを推進していきたいと思います。具体的には、家庭でのタブレット端末を活用した宿題や授業の予復習、eライブラリの活用、家庭との情報連絡等を想定しております。

つきましては、タブレット端末を家庭で利用するには、自宅の Wi-Fi 環境が必要となります。環境整備には設置費用がかかりますが、児童の家庭学習の充実と情報活用能力の育成のためにもご理解を賜り、可能な限り Wi-Fi 機器等の家庭での導入につきましてご協力いただきますよう、お願い申し上げます。